

「エーレッツェーギって何だ？」 と言わない日本語教師

WAKAI Seiji (szeidzsi@yahoo.co.jp)

日本ハンガリー協カフォーラム日本語教育研修事業
第5回日本語教育研修会
日時：2008年1月26日
講師：若井誠二（カーロリ・ガーシュパール大学）

―目次―

はじめに 3

第1章：エーレッチェーギって何？ 5

第2章：エーレッチェーギ@高校卒業試験 6

第3章：エーレッチェーギ@大学入学試験 9

第4章：エーレッチェーギ@国家外国語試験 17

第5章：エーレッチェーギ外国語試験が求めるもの 18

第6章：エーレッチェーギ日本語試験の概要 21

おわりに 31

はじめに

「エーレッチャーギ」をハンガリー語で書くと *Érettségi* となります。*Érett* というのは、「熟れた」とか「成熟した♥¹」という意味の言葉で、*~ség* というのは連体修飾系の語の後ろにつけてこれを名詞化するものです。そして最後の *i* は「~の」という意味で後ろに名詞が続くことを表します。

というわけで、*Érettségi* を無理やり日本語に訳すと「大人になるための~」という意味になるでしょうか。この「大人になるための~」の「~」の部分には「試験」にあたる *vizsga* が入るのですが、この *Érettségi vizsga* は単なる試験ではなく、「大人になるための通過儀礼」的な意味合いも持っているような気がします。もちろんエーレッチャーギの試験を受けない人もいますので、こう書いてしまうと差別的な感じもしてしまいますが、2005 年までは、初日のハンガリー語・ハンガリー文学、2 日目の数学の試験は朝 8 時にテレビとラジオで問題を発表する形をとっていたので、受験しない人も「どんな問題が出るのか」とドキドキし、国全体で「受験生よ頑張れ！」と応援するような雰囲気がありました²。

このように（受験生はともかく）傍から見ると「おお！青春の 1 ページ。頑張れ〜。」という国民行事的な雰囲気をただよわせていたエーレッチャーギですが、2005 年度（2006 年）からこのシステムが大きく変わり、（個人的に）そうも言われてられなくなってしまいました。この背景には、「大学³の入学試験のシステムがエーレッチャーギを絡めたものとなり、更に毎年のように大学入試のシステムが変更されている。」⁴ 点と、「日本語を含めたエーレッチャーギにおける外国語の試験が CEFR⁵に準拠するようになった。」⁶ 点があります。

私の場合は、大学の入学試験との関連で、ここ数年エーレッチャーギに振り回され

¹ 個人的な趣味で♥をつけてみました。

² 少なくとも私は毎年ラジオを聞きながらそう感じていました。

³ 高等教育機関と書いた方が正しいのですが、とりあえず「大学」としてしています。

⁴ 私が現在大学で教えている身であり、元々大学で日本学を学びたい人が日本語能力を身につけるために設置した、通称「0年生」と呼ばれるコースを担当しているの、襲いかかる入試改革の波に飲み込まれてもがいている最中です。

⁵ 「外国語学習・教育・評価のためのヨーロッパ共通参照枠」(Common European Framework of Reference for Language) の略です。略語としては CEF を使うこともありますが、あくまでも「参照するもの (reference)」という意味合いを強調するために CEFR としました。一種のこだわりです。CEFR は、国を超えたヨーロッパレベルでの外国語教育のシラバス、カリキュラム、試験・教材などを作成するためのガイドラインで「包括性」「明確性」「一貫性」を満たすように配慮され、コミュニケーションを図るためには何を学ぶ必要があるか、どんな知識と技能を身につけるべきかが総合的に記述されています。そして生涯を通じて学習レベルを測れるような配慮もされています。CEFR は日本語にも翻訳されていてインターネットで無料で見ることができます。(http://www.chs.nihon-u.ac.jp/german/inst/yonei/yonei_info/daf-kurs/cef-jp/cef_00.pdf

最後の 00.pdf の部分を 01~09 まで換えていくと全ての章が読めます。また、http://www.jpj.go.jp/j/japan_j/publish/euro/からは、ヨーロッパ日本語教師会による CEFR の調査報告書をダウンロードすることができます。)

⁶ 日本語教師としてエーレッチャーギでどんな問題が出るのか、なぜそのような問題が出るのか。授業でどうするか・・・という問題に取り組まざるを得なくなったのですが、まだ CEFR についての理解が全然足りないので誰か一緒に上記資料を読んでくれる人を探しています。困っています。

続けているわけですが、エーレッツェーギは元々「高校⁷の卒業試験」としての性格があり、今もその性格は残っているので、高校の先生達にとってもエーレッツェーギについて知ることは必要でしょう⁸。また、今のエーレッツェーギの外国語試験は外国語国家試験としての性格も持っていますし、更に CEFR に準拠していますから、語学学校やプライベートで日本語を教えている先生方にとってもエーレッツェーギについて知ることは重要なことだと思います。また、エーレッツェーギとは無縁の生活を送っている方も、「ハンガリーの文化の1つ」としてエーレッツェーギについて知識を持っていることは得することはあれど、損はないと思います。

なお、この資料は、ハンガリーで日本語を教える日本人が「エーレッツェーギって何だよ〜？」とパニックにならないために作ったものですが、正直なところ、これを書いている私自身もエーレッツェーギについてはわかっていないところも多いのです。ですから、これを読んで「まだわからん！」「もっとわからなくなった！」と感じても、もちろんそれはすべて私のせいです。疑問に思ったところがあったら、是非 szeidzsi@yahoo.co.jp までご連絡ください。では、はじまり、はじまり〜。(ここに書かれている情報は 2008 年 1 月現在のものです。特に大学入試制度についてはここ数年毎年変わっていますので、ここに書かれている内容もすぐ賞味期限切れになる恐れがあります。)

⁷ 中等教育機関と書いた方が正確なのですが、ここでは「高校」と書いています。

⁸ 私自身も 10 年以上高校でも日本語を教えていたのですが、始めのころはエーレッツェーギや大学入試のシステムがわからなかったために、生徒達の意見や要望の意味がわからずトンチンカンな対応をとったことがありました。

第1章 エーレッツェーギって何？

2004年度⁹まで、エーレッツェーギは「高校卒業試験」としての性格しか持っていませんでした。大学などで卒業試験というと、「卒業する前に受ける最終試験で、これに通らないと卒業できない」という意味になりますが、エーレッツェーギの場合、卒業式の後¹⁰に行なわれます。ですから「え？卒業試験？順番が逆やん？」と感じてしまうのですが、これに通らないと高校卒業資格がもらえませんが、もちろん大学に進学することもできません。卒業試験（エーレッツェーギ）に落ちても再試験を受けることができます。しかし、そうなっては受験者本人も学校側も困ります。2004年度までも筆記試験は国が管理していましたが教員も何ともしがたかったのですが、口頭試験は問題作成も試験官もその教科を教えた教員が担当していましたが、筆記試験の結果が今ひとつだった生徒がなんとか挽回できるよう応援しつつ試験を進めていく・・・なんてこともあったと思います¹¹。

・・・と、話がそれてしまいましたが、2004年度までのエーレッツェーギは、大学入試の日程と非常に近く、受験生の負担が大きくなるという問題がありました。エーレッツェーギは筆記試験と口頭試験に分かれていて、筆記試験は5月中旬¹²、口頭試験は6月後半¹³に行なわれるのが普通でしたが、多くの大学入学試験は7月の頭に行なわれ、場合によってはエーレッツェーギの口頭試験の前に行なわれるということもありました。

そういう意味もあり、2005年度からはエーレッツェーギが大学入学試験の性格も持つようになりました。また外国語の場合、「高校とは別に語学学校に通ったり家庭教師を雇ったりして勉強し、更に高い受験料を払って国家試験を受けて資格をとる」ことへの負担も懸念されていたので、高校での勉強がそのまま国家試験へ結びつくよう、エーレッツェーギが国家試験としての性格も合わせ持つようになりました¹⁴。

つまり、現在エーレッツェーギは「高校卒業試験」の他に、「大学入学試験」「国家外国語試験（外国語のみ）」という性格も持つようになったということになります。

⁹ ハンガリーの学校は9月から新年度が始まるので2004/2005年と書くのが普通ですが、ここでは日本式に2004年度と書きました。

¹⁰ 5月の初旬の金曜日か土曜日に卒業式をやり、その次の週の月曜日からエーレッツェーギが始まるのが普通です。

¹¹ 学校によって対応も違うでしょうし、具体的な例を書いてしまうと問題になりますのでこれ以上は勘弁してください。

¹² どの試験も3～4時間はかかりますから。1日1科目で1週間受験するというのが普通でした。

¹³ 通常の授業が終了し、夏休みに入ってから行なうのが普通でした。こちらは1人が同日にすべての科目を受けます。1人あたりにかかる時間が非常に長いため口頭試験そのものは数日間かけて行ないます。このときは受験生のお母さん達が、試験監督の先生方にサンドイッチなどを作って（+ケーキ、飲み物）もてなしてくれます。

¹⁴ ハンガリー人は国レベル、ヨーロッパレベルのどの調査をみても「外国語が不得意」という結果が出ます。このため国としても外国語（特に英語などのEU言語）を何とか身につけてほしいといういろいろな政策を打ち出してきました。「エーレッツェーギ@外国語国家試験」という改正もこの一環と見ていいと思います。

第2章 エーレッチェーギ@高校卒業試験

2005年度からのエーレッチェーギの改革が、高校卒業試験としてのエーレッチェーギに「大学入試」と「外国語国家試験」という性格が加わるだけのシンプルなものであればよかったのですが、実はそうはなりません。これが生徒さんや先生方の頭を悩ませる原因ともなっています。ここでは、まず高校卒業試験の基本的なシステムについて説明し、それから（みんなの頭を悩ませている）2005年度以降のシステムの変更点について書いてみたいと思います。

1. 基本システム

卒業試験は基本的に必修4教科と選択1教科の計5教科で受験します。必修4教科というのは「ハンガリー語・文学」「数学」「歴史」「外国語」です。選択科目は必修科目以外の科目で受験生が得意なものを選択します。（外国語でもOKです。）試験は筆記と口頭に別れ、筆記は5月中旬、口頭は6月中旬以降に行われます。

選択科目ですが、基本的に「学校で勉強して成績も出ているもの」から選びます。ですから、高校で日本語を勉強していて、教科として成績が成績表¹⁵に記載されていれば、必修の外国語枠か、選択科目枠で受験することが可能です。ただ、学校で日本語を勉強していない人でも、卒業試験として日本語試験を受験する道は残されています。最近では学校に日本語の授業がなくても日本に滞在経験があるとか、語学学校などで日本語を勉強しているという高校生も増えてきました。これらの生徒さん達がもしエーレッチェーギで日本語の試験を受けたい場合は、日本語を教科として教えている学校で「エーレッチェーギ受験資格試験」を受けることができます¹⁶。そして、これに合格すればエーレッチェーギで日本語の試験を受けることが可能になります。

2. 変更点1（成績換算に関して）

2004年度まではエーレッチェーギの各教科試験は1種類しかありませんでしたが、2005年度の改革で、これが「中級エーレッチェーギ」と「上級エーレッチェーギ」の2つの種類に分かれることとなりました。もともとは中級エーレッチェーギは「卒業試験」、上級エーレッチェーギは「大学入試」の性格をもたせるつもりでしたが、各団体から圧力が加かったらしく、現在では、この両方とも卒業試験として受験することが可能です。

上級と中級ですから、もちろん上級の方が問題レベルが高くなりますが、この分成

¹⁵ 学級日誌に成績をつける欄があり、そこにつけていきます。最近ではオンラインで成績をつける場合もあります。成績ですが、学期末、年度末に平均を割り出します。学級日誌は生徒はのぞいてはいけないようなのですが、実際には見ている生徒さんは多いはず。

¹⁶ 試験は、「学校で2年間日本語を勉強したに等しい実力があるか」を見るものです。公式な手続きは学校間で行ないませんが、日本語の授業がない高校には日本語教育に関する情報がないはずですので、希望者がいる場合には、mjot（ハンガリー日本語教師会）に問い合わせることをおすすめします。

績の換算方式も別のものになります。(卒業試験としてのエーレッツェーギの成績は5段階評価になりますから試験の点数を成績に換算する必要があります。)

エーレッツェーギの点数と卒業試験成績 (換算票)

中級 (%)	上級 (%)	成績
80 ~ 100	60 ~ 100	5
60 ~ 79	47 ~ 59	4
40 ~ 59	33 ~ 46	3
20 ~ 39	20 ~ 32	2
0 ~ 19	0 ~ 19	1

外国語 (日本語を含む) の試験の場合、中級・上級とも満点は 150 点となります。これを 100 点満点に換算して (この表では「%」で表しています。) 5 段階評価に換算します。

2004 年度までは、筆記試験と口頭試験は別々に成績を出し、この 2 つの成績を見て最終的な成績を出していました。(例えば筆記が 4 で口頭が 5 の場合、最終的な成績を 5 にするか 4 にするかは教員の判断にまかされていました。) 2005 年度からは筆記と口頭合わせて 1 つの試験となりましたが (上記のように日本語の試験の場合、筆記と口頭合わせて 150 点満点です。)、筆記、口頭試験のいずれかで 10% の得点がない場合は (合計点が例えよくても) 自動的に成績が 1 となってしまいます。更に日本語を含む上級試験の場合は、筆記の各試験 (読解、文法、聴解、作文) でそれぞれ 10% 以上得点できないと、全体の成績が 1 (不合格) となってしまいます。このように、上級の試験を受ける場合、教科に関する総合的な実力があればよい成績がとりやすい反面、不得意な分野があると不合格になってしまうという危険性があります¹⁷。

2004 年度までは筆記、口頭とも自分の学校で受験するのが普通でした¹⁸。しかし現在はエーレッツェーギが上級と中級に分かれたことで「中級は基本的に自分の学校¹⁹」、「上級は OKÉV²⁰が指定した会場」と受験地も複雑になりました。なお試験問題は、中級の場合、筆記試験は OKÉV、口頭試験は学校の担当教員が作成しますが、上級の場合、筆記・口頭試験とも OKÉV が作成します²¹。

2. 変更点 2 (受験回数について)

¹⁷ 実際、日本語の試験でも過去に作文の得点が 10% に達せず不合格となった受験生がいました。

¹⁸ 教科によっては以前から地域ごとに集まって受験することもありました。

¹⁹ エーレッツェーギ受験資格試験を経てエーレッツェーギを受験する場合は、中級でも OKÉV が指定した場所で受験します。

²⁰ Országos Közoktatási Értékelési és Vizsgaközpont の略 (国家公教育評価試験局: 簡単に言うとエーレッツェーギを管轄する団体です。「オケーブ」と呼びます。)

²¹ 実際には専門家に委託します。誰が問題を作成しているかは国家機密です。

2004年度まで、エーレッチェーギは「高校の卒業式に参加した後で受けるもの。」だったのですが、2005年度からは、卒業前（例えば11年生²²）でも条件が揃えば希望する教科ごとに受験が可能になりました。

卒業前にエーレッチェーギを受けたい、受けさせたい場合、以下の点に注意しなければなりません。

- ・ 学校側が受験希望の教科について「卒業程度の実力がある。」と証明しなければなりません²³。
- ・ もし卒業前に受けたエーレッチェーギが不合格だった場合、卒業する時に再度受験することができます。（卒業前に上級を受けて失敗した場合、卒業時に中級にレベルを下げて受験することができます。）
- ・ もし卒業前に受けたエーレッチェーギが合格した場合、例え成績が悪くても卒業するときに再受験することはできません²⁴。（ただし卒業前に中級エーレッチェーギに合格した場合、卒業時に上級エーレッチェーギを受けることはできます²⁵。）

また、2004年度までエーレッチェーギは年に1回、5・6月にしか実施されませんでした。2005年度からは10・11月にも受験できるようになりました²⁶。これは卒業前のエーレッチェーギ受験の場合にも適用されます。

更に2004年度までは、不合格だった場合を除いて、エーレッチェーギの再受験は不可能でしたが、2005年度からは「エーレッチェーギ@卒業試験」の成績を上げるために卒業後にエーレッチェーギを再受験することが可能になりました²⁷。このように、2004年度までは（不合格だった場合を除いて）基本的に高校を卒業する時の「一生に一度」ものだったエーレッチェーギが、今では何回も受けられる単なる資格試験のようになってきています²⁸。

²² 以前は初等教育8年、中等教育4年とかわちりきまっていたので、学年の数え方もそれぞれ1年生からスタートしたのですが、今はその制度が崩れてきています。それで学年の数え方も小学校1年からの通年で数えます。普通は12年生で高校を卒業します。

²³ 自分の学校で日本語の授業がない場合は、日本語の授業を行なっている学校から証明書を出してもらおう形になります。

²⁴ 卒業後は再受験ができます。2004年度までもエーレッチェーギに失敗した場合、卒業した後で再受験ができました。

²⁵ でもこれに不合格になったらすべてがパーです。

²⁶ 2005年度はこの他に2・3月のエーレッチェーギもありましたが、現在は廃止されました。

²⁷ 後で述べますが、「エーレッチェーギ@高校卒業試験」の成績は大学入学試験の「学校成績点」として計算できます。そのため「エーレッチェーギ@高校卒業試験」の成績がよいと大学入学に有利になる可能性があります。

²⁸ ここでは書きませんが、受験者本人に責任のない理由でエーレッチェーギが受験できなかった場合（例えば自然災害、事故、OKÉVからの連絡ミス）も再受験が可能です。

第3章 エーレッチェーギ@大学入学試験

第1章でも書きましたが、2005年度からエーレッチェーギは大学入学試験としての性格も持つようになりました。「エーレッチェーギ@大学入学試験」は全国レベルで受験生が皆同じ試験を受けますので、そういう意味では日本のセンター試験²⁹に似ています。しかし、受験科目は受験学科によって規定されています。この点はセンター試験とは異なります。

なお、2005年度、2006年度では、受験科目数は学科により1科目だったり2科目だったりしたのですが、2007年度は全ての学科が「2科目による受験」となりました。第2章でも触れましたが、現在のところ大学入学試験に関しても、中級、上級いずれのエーレッチェーギも入試科目として利用できます³⁰。ちなみに2007年度（2008年実施）のELTEとKRE（カーロリ大学）の日本学科（正式には「人文学部東洋言語文化学科日本学専門コース」ですが、以下日本学科と記します。）の入試科目は以下のようになります。

日本学専門コース受験科目（2007年度³¹）

選択枠1	選択枠2
ハンガリー語ハンガリー文学、歴史（中級・上級エーレッチェーギいずれも可）	英語、アラビア語、フランス語、日本語、ラテン語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語（中級・上級エーレッチェーギいずれも可）
選択枠1・2からそれぞれ1科目を選択し、計2科目で受験する。	

もちろん受験生は複数の大学の複数の学科を志望することができます。この場合、各学科が指定する受験科目に合わせて受験するのですが、各学科の受験科目が重なっている場合、同じ試験の結果を流用します。

例1. 高校生Aさんの場合

高校生Aさんは日本語はできませんが、ELTEの日本学科に入りたいと考えていました。あと、恋人のBさんがペーチ大学を希望していたので、自分もペーチ大学の英語学科も志望することにしました。ELTEの日本学科には「歴史」と「英語」を受

²⁹ 私が受けたときは「共通一次試験」と言いました・・・これだけで「おじさん」世代バレバレですね。

³⁰ ただし、学科によっては「上級エーレッチェーギに限る」と指定してあります。

³¹ ここ数年受験科目は毎年変わっています。個人的には2004年度までの「大学独自の入学試験」方式に戻してほしいです。

験科目として選択しました。ペーチ大学の英語学科も同じく「歴史」と「英語」を受験科目として選びました³²。

さて高校の卒業式も終わり、Aさんはエーレッチェーギ@高校卒業試験として、「ハンガリー語ハンガリー文学」「数学」「歴史」「英語」「物理」を受験しました。このうち、歴史と英語の成績が自動的に入試点として流用されました。その結果、AさんはBさんとは別の大学に通うことになりました。ああ、2人の恋はどうなるのでしょうか・・・遠距離恋愛はつらい³³！

さて、大学入学試験に関して最もややこしいのは、その点数計算の方法です。特に2007年度は点数の計算方法が新しくなりましたので、以下、CさんとDさんを例に説明してみます。

Cさん：日本学科を目差している高校生

Dさん：2002年に高校を卒業して会社に勤めていたが、高校で勉強した日本語を続けたくて日本学科を目差すことにした。でも仕事は忙しいので今持っている資格だけで大学に入りたい。

2人とも「歴史」と「日本語」を受験科目に指定しました。

日本では基本的に入学試験の点数（のみ）が入学合否を決める基準となります。しかし、ハンガリーの場合、以前から学業点も入試点として考慮に入れることができませんでした。この制度は2005年度からも引き継がれています。そして、2005年度からはこれに「加点枠」も加わりました。なお、加点枠については議論が続いているようで、2007年度はその中味が大きく修正されました。

入試点として考慮できるもの（2007年度）

①学業点（200点満点） ②エーレッチェーギ点（200点満点） ③加点（80点満点）

入試点の計算方法（どちらか好きな方を選べます。）

- 1) 学業点+エーレッチェーギ点+加点（480点満点）
- 2) エーレッチェーギ点×2+加点（480点満点）

2007年度の大学入試点の満点は480点です。2004年度までは「学業点が60点、入学試験が60点の120点満点」だったので、これを受けて2005年度、2006年度の入試点は、「学業点（60点）+エーレッチェーギ点（60点）+加点（24点）」の144点満点だったのですが、『点数に差がつかない！』という問題があったため、修正さ

³² ちなみに入試情報によれば、ペーチ大学英語学科は「英語」と「ハンガリー語ハンガリー文学、歴史、フランス語、ラテン語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語から1科目選択」が受験科目です。

³³ ここらへんは、ちょっと実感がこもっています。

れたようです。

1. 学業点 (200 点満点)

学業点 (200 点満点) は、5 教科の成績点 (100 点満点) とエーレッツェーギ@卒業試験の成績点 (100 点満点) を合わせたものです。

5 教科の成績点とは、必修 4 教科 (「ハンガリー語・ハンガリー文学³⁴」「歴史」「数学」「外国語) と選択 1 教科 (計 5 教科) の卒業前の 2 年間³⁵の後期 (通年³⁶) の成績 (5 段階評価) の合計点から算出します。2 年以上授業を受けた外国語が 2 つ以上ある場合、成績のよい方を選ぶことができます。なお、「選択科目」で選ぶ教科は、エーレッツェーギ@卒業試験で受験する教科と同じでなくても大丈夫です。

現役高校生 C さんの 5 教科の成績点 (83 点)

	洪 ³⁷ 語	洪文学	数学	歴史	英語	日本語	合計点
11 年生	5	4	3	5	3	5	20.5
	4.5						
12 年生	4	4	4	4	4	5	21
	4						
20.5 (11 年生の成績合計) + 21 (12 年生の成績合計) = 41.5							41.5 × 2 = 83

エーレッツェーギ@卒業試験の成績点とは、卒業試験の各教科 (4 教科+1 教科) の得点の平均点のことを指します (小数点以下は四捨五入)。C さんは日本語の試験だけ上級エーレッツェーギを受けました。

C さんのエーレッツェーギ@卒業試験の成績点 (68 点)

洪語洪文学	数学	歴史	英語	日本語	合計点	平均点
71	48	84	80	75	358	72

上級エーレッツェーギを選択した場合、得点が低くても卒業試験は良い成績になります。しかし、この場合は得点を考慮するので、上級エーレッツェーギを受けると不利になります。C さんの場合、中級を受けていれば 90 点以上とれたかもしれませんが、上級を受けたので 75 点しかとれませんでした。それで平均点が下がってしまいました

³⁴ 実際には「ハンガリー語」と「ハンガリー文学」は別々で成績が出ます。成績点を出す際には 2 つの教科の平均を使用します。

³⁵ 多くの場合 11 年生と 12 年生です。ただカリキュラム上、9 年生と 10 年生でない教科を「外国語」「選択」枠で選んだ場合はこの 2 年の成績が対象となります。同じようにカリキュラム上 9 年～11 年と 3 年間勉強したものを選ぶ場合には、最後の 2 年間の成績が対象となります。9・10 の成績の方が 11・12 年生の成績よりよいからと言って、そちらを選ぶことはできません。

³⁶ 前期の成績は前期だけの成績ですが、後期の成績は通年の成績になります。高校で教えていた当時、私ははじめこの付け方がわからず後期だけの成績をつけてしまい、生徒等から猛抗議を受けたことがあります。

³⁷ ハンガリー (洪牙利)

た。じゃあ、なぜ C さんは上級エーレッチェーギを受けたのでしょうか?? (→「加点」を参照してください。)

C さんの場合、学業点は 83 点+72 点=155 点となります。

なお、2004 年度までに高校を卒業した人の場合、結果は 5 段階評価のみで得点化はされていませんでした。それでこの場合、以下のように点数化します。

2004 年度までのエーレッチェーギ成績の点数化

成績	点数化された得点
5	100
4	79
3	59
2	39

2002 年に高校を卒業した D さんのエーレッチェーギ@卒業試験の成績点

洪語洪文学	数学	歴史	英語	日本語	合計点	平均点
4	3	5	4	5		
79	59	100	79	100	417	83

この得点の出し方だと、2004 年以前に卒業した人の方がいい点数になりやすいという意見もあって、特に 2005 年度では大きな問題になりました。

D さんは、5 教科の成績点は 80 点だったので、学業点は 80 点+83 点=163 点となります。

2. エーレッチェーギ点 (200 点満点)

エーレッチェーギ点は、エーレッチェーギ@大学入試で選択した科目の獲得% (日本語のエーレッチェーギは 150 点満点ですから、それを 100 点満点にした時の点数) の合計点のことになります。C さんは、日本学科を「歴史」と「日本語」で受験しました。

C さんのエーレッチェーギ点

歴史	日本語	合計点
84	75	159
上にも書きましたが、C さんは日本語の上級エーレッ		

チェーギを受験しています。もし、中級を受けていれば 90 点以上とれたかもしれませんが、上級を受けたので 75 点しかとれませんでした。このためエーレッチェーギ点も下がってしまいました。じゃあ、なぜ C さんは上級エーレッチェーギを受けたのでしょうか?? (→「加点」を参照してください。)

C さんの場合、エーレッチェーギ点は 84 点+75 点=159 点となります。

2004 年以前にエーレッチェーギを受けた人は、先ほどの「成績→点数」換算表をもとにエーレッチェーギ点を算出します。

D さんのエーレッチェーギ点

歴史	日本語	合計点
79	100	179
<p>2004 年度までのエーレッチェーギは、中級エーレッチェーギとして扱われます。幸い日本学科の受験科目はすべて「中級エーレッチェーギでも可」と書いてあるので D さんは 2002 年にもらったエーレッチェーギの成績をそのまま使うことができました。</p>		

3. 加点 (80 点満点)

加点枠はエーレッチェーギに大学入学試験の要素が加わってから登場したカテゴリーです。2005 年度、2006 年度は、「上級エーレッチェーギを受け、成績が 3 (33%) 以上だった場合」「国家外国語試験を取得している場合」のみに加点が与えられていましたが、2007 年度は以下の場合に加点が与えられるようになりました。

加点概要 (詳細は <http://www.felvi.hu/bin/content/dload/fft2008k/tobbletpont081.pdf> を参照)

項目	加点	
上級エーレッチェーギで 30%以上の成績	教科ごとに 40 点	
外国語国家試験 (C タイプ ³⁸)	中級 1 つにつき 35 点 上級 1 つにつき 50 点 (ただし合計 50 点まで)	
国内の各種学術的大会で上位入賞	15~80 点	★

³⁸ 国家外国語試験では筆記のみ (A タイプ)、口頭のみ (B タイプ) 筆記+口頭 (C タイプ) の資格を得ることができます。ちなみに通訳ガイドのコースに通うための条件は B タイプの中級 (インターメディエイト) だったはずですが。

国が指定する専門技術・資格取得	30点	★
国内・国際スポーツ大会メダル獲得	10～20点（チェス含む）	★
貧困層出身	25～50点	
心身に障害	50点	
妊娠中・産休中（国から補助金受けている者）	50点	
★は、学部レベルで考慮の範囲が規定されています。例えば日本学科がある人文学部の場合、スポーツの成績は加算対象になりません。なお、貧困層出身、障害、妊娠・産休の受験者に加算をあたえることに対しては異論もあるようです。		

以上のカテゴリーを組みあせて加算を集めることができますが、加算の満点は 80 点ですので、それ以上の点数を持っていても、それは考慮されません。（例えば妊娠中の受験生が、受験科目のうち 1 つの科目を上級エーレッチェーギで受けて 30%以上の成績をとり、更に英語の国家試験中級を持っていたとすると、合わせて 50 点+40 点+35 点=125 点の加算を持っていることとなりますが、入試点として利用できるのはこのうちの 80 点だけとなります。）

さて、現役高校生の C さんは、心身ともに障害もなく、妊娠もしておらず、もちろん子供もいません。お小遣いが少ないのは悩みの種ですが「貧困層」の出身でもありません。日本語の勉強は好きですが、学術的な大会で上位入賞した経験はなく、スポーツは住んでいる町の大会で入賞したことはありますが、国内や国際大会に出たことはありません。でも日本語のエーレッチェーギは上級を受け 75%とりましたし、お母さんにギャーギャー言われて、英語の中級試験（C タイプ）を何とかとりました。・・・というわけで C さんは、上級エーレッチェーギの 40 点と、外国語国家試験中級（C タイプ）の 35 点の加算、合わせて 75 点を得ることができました。

一方、これまで社会人として働いてきた D さん。将来を見越して 3 年前に英語の国家試験上級（C タイプ）を取得していました。そしてフランス語の国家試験中級（C タイプ）も最近とりました。・・・というわけで D さんには、外国語国家試験の 50 点+35 点=85 点がありますが、（外国語の加算は最高でも 50 点までなので）このうちの 50 点が加算として使えるようになりました。

C さんと D さんの入試点をまとめると以下ようになります。

	学業点	エーレッチェーギ点	加算
C さん	155	159	75
D さん	163	179	50

C さんも、D さんも学業点とエーレッチェーギ点を合わせるより、エーレッチェーギ点を 2 倍した方が点数が高くなるので、以下のように点数を計算し大学の志望順位

を変更することにしました。

Cさん、Dさんの入試点

Cさん：159点×2+75点=393点

Dさん：179点×2+50点=408点

以前は、「入学試験合格上位〇名までは授業料免除、それ以下は授業料を支払う」という形をとっていましたが、2005年度からは、「学費免除枠」と「学費枠」それぞれに定員を設けて入学生を募集するようになりました³⁹。更に2008年度からは学費免除がなくなり、「学費免除枠」が「学費一部免除枠」となります⁴⁰。

大学の志望先についてはエーレッツェーギを受ける前に申請を出しますが、「学費一部免除枠」と「学費枠」は別の志望先として（暫定的に）申請します。学費は安い方がいいのですから当然「学費一部免除枠」の方が「学費枠」より合格点が高くなります。ですから志望学科に入ることを優先させるか、はたまた学費を優先させるかで、志望順位をかえることとなります。日本学科は2006年度の入学試験で合格点が非常に高かったため、Cさんは日本学科の他にカーロリ大学のコミュニケーション・メディア学科にも志望を出していましたが、エーレッツェーギの結果を見て日本学科に合格できるか不安になってきたので、日本学科より下にしてしていたコミュニケーション・メディア学科の志望順位を上にし、再申請しました⁴¹。（同学科は「歴史」と「英語」で受験しました⁴²。）Dさんは、はじめ学費一部免除枠の志望を上にしていましたが、これまで働いてきて経済的な問題はそれほどないため、確実に日本学科に入ることにし学費枠の志望順位を上げました。

Cさんの志望順位

申込時	エーレッツェーギ後
1. ELTE 日本学科（学費一部免除）	1. KRE コミュニケーション（学費一部免除）
2. KRE 日本学科（学費一部免除）	2. KRE コミュニケーション（学費）
3. KRE 日本学科（学費）	3. ELTE 日本学科（学費一部免除）
4. ELTE 日本学科（学費）	4. KRE 日本学科（学費一部免除）

³⁹ 定員は大学が決めているわけではないようです。

⁴⁰ 1994年～1998年の社会党政権の時に一度学費が導入されました。（この時は大きな学生デモがありました。）1998年の国政選挙ではFIDESZ（青年民主同盟）が「学費免除」も公約の1つに掲げ政権をとりました。その後、学費完全撤廃はなりませんでした。しかし、現在の社会党政権で再び学費が導入されることになりました。その後、野党からの働きかけで学費に関する政策についての国民投票が行なわれることになりました。2008年3月9日にその投票が行なわれます。

⁴¹ エーレッツェーギ後に志望順位を変更できるようになったのは2006年度からです。

⁴² コミュニケーション・メディア学科の入学試験は「ハンガリー語、数学、社会、歴史、コミュニケーション学、社会学、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語から2科目選択。いずれも中級エーレッツェーギ可」だったので、Cさんは「歴史と英語」を選びました。

5. KRE コミュニケーション (学費一部免除) 6. KRE コミュニケーション (学費)	5. KRE 日本学科 (学費) 6. ELTE 日本学科 (学費)
KRE と ELTE のどちらでもよかったが、両親が ELTE にこだわったのと、2006 年度の入試では、ELTE も KRE も学費免除枠の合格点が同じだったので、ELTE を 1 位にした。ただ学費枠については 2006 年度の入試で KRE の方が合格点が低かったので「入りやすさ」を考慮して KRE を上にした。	自分の入試点を見ると、学費一部免除、学費枠を問わず日本学科には入れる可能性が低いと判断し、コミュニケーション学科の志望順位を上げた。

D さんの志望順位

申込時	エーレッチェーギ後
1. KRE 日本学科 (学費一部免除) 2. KRE 日本学科 (学費)	1. KRE 日本学科 (学費) 2. KRE 日本学科 (学費一部免除)
高校のとき日本語を教わった先生の御主人が KRE の教員だったので ELTE ではなく KRE への進学を希望した。	日本学科への入りやすさを優先して学費枠の志望順位を上にした。

さて、入学試験の各学科の合格点が発表されました。その結果 C さんはカーロリ大学のコミュニケーション・メディア学科 (学費枠) にかろうじて合格。やはり C さんの入試点では日本学科の合格点には足りなかったようです。志望の学科には入れませんでした。今の大学制度では、副専攻として日本学を専攻することができる⁴³ので C さんはそれほど落胆していません。一方 D さんは第一志望である日本学科 (学費枠) に無事合格できました。

⁴³ 副専攻ですが、主専攻と全く同じ学位を取得できます。なお、教員志望者は必ず副専攻を取り、副専攻の教員免許も取得しなければなりません。

第4章 エーレッチェーギ@国家外国語試験

2005 年度から、外国語のエーレッチェーギは上級エーレッチェーギに限り、国家外国語試験としての性格を持つようになりました。同試験で 40%を取れば、国家外国語試験初級（C タイプ）、60%を取れば同中級（C タイプ）を取得することができます。

C さんは、日本語の上級エーレッチェーギで 75%とりましたので、国家日本語試験中級（C タイプ）を取得することができました。C さんはこの資格で、カーロリ大学内にある通訳ガイドコースにも通うことにしました。

第5章 エーレッツェーギ外国語試験が求めるもの

エーレッツェーギのシステムについては、大体わかっていただけかもしれませんか。(え?わからない。う〜ん。書き直します。) ここからは、外国語教師、日本語教師としてエーレッツェーギについて知っておけば得することを書いていきたいと思えます(ちょっと疲れてきたので中味がスカスカになっていくかもしれませんが・・・)。

1. エーレッツェーギ外国語試験のコンセプト

ハンガリーの公教育の基本的な枠組みはナショナル・コア・カリキュラム (NAT) で示されていますが、2003年12月に改訂された NAT は、「公教育においては CEFR に基づいて外国語教育を行うように」と指導しています⁴⁴。このため 2005 年度からのエーレッツェーギ外国語試験もすべて CEFR に基づいて作られています。

CEFR については、その詳細を紹介すると何百ページあっても足りませんし、まず私自身が深い理解をしていないため、1つ2つ重要だと思われるコンセプトのみを記します。

CEFR の基本コンセプト

多言語・多文化「社会」であるヨーロッパで生活していくために必要な個人の言語使用・文化理解能力を高める。

(個人内) 複言語主義

多言語・多文化社会であるヨーロッパで生活していくためには、「様々な場面で、(母語や文化のバックグラウンドの違い) 相手に対して効果的なコミュニケーションができる。」能力が必要になる。

言語面で言うと「ある言語から他の言語へ瞬時に使用言語を変えることができる。」「知っている言語知識を駆使して(例えば日本語・英語・ドイツ語・ハンガリー語をまぜて) コミュニケーションをとることができる。」「知らない言語でも、自分の持つ言語知識や経験を生かしてコミュニケーションをとることができる」能力が大切と言える。

また、相手の言語や文化を学び理解することで、「違い」に対して寛容になる。これは、結果的に効果的なコミュニケーションに結びつく。

つまり、個人の中にある「多様な言語・多様な文化」の知識・意識をどう効果的に使ってコミュニケーションをとるかということが重要になる。

⁴⁴ 『ヨーロッパにおける日本語教育と Common European Framework of Reference for Languages』ヨーロッパ日本語教師会・国際交流基金 135 ページ (同書は http://www.jpf.go.jp/j/japan_j/publish/euro/ からダウンロードが可能です。)

Can do

外国語は、多言語・多文化社会であるヨーロッパで「生きていく」ために使うものである。

だから、「どのぐらい言語（文化）知識があるか」というより、「その言語（文化）知識を使って何をどれぐらいできるか。」ということの方が重要となる。

CEFR ではこの「何を」について「理解すること（聞くこと、読むこと）」「話すこと（やり取り、表現）」「書くこと」に分けている。

そして「どのぐらい」という点に関しては、「基礎段階の言語使用者（A 1, A 2）」「自立した言語使用者（B 1, B 2）」「熟達した言語使用者（C 1, C 2）」というレベルを設定している⁴⁵。

「実際に何ができれば B2 なのか」ということに関しては CEFR にも詳しく（詳しくすぎるぐらいに）出ているのですが⁴⁶、個人が自分の能力をチェックできるように「ヨーロッパ言語ポートフォリオ（European Language Portfolio：通称 ELP）」というものも開発されています⁴⁷。

エーレッツェーギ外国語試験は上でも述べた通り、この CEFR に基づいて作られています。「何をどれぐらいできるか」の「何」については「読解」「文法」「聴解」「作文」「口頭」に分けてチェックします。

CEFR	エーレッツェーギ
理解すること（聞くこと）	聴解
理解すること（読むこと）	読解
話すこと	口頭
書くこと	作文
	文法

エーレッツェーギでは「理解すること」「話すこと」「書くこと」の基礎能力として「文法」のテストも行います。しかし「知識を使って何ができるか」という点を重要視しているため、特に中級エーレッツェーギでは文法テストの配点だけが他のテストより

⁴⁵ A1(Breakthrough), A2(Waystage), B1(Threshold), B2(Vantage), C1(Effective Operational Proficiency), C2(Mastery)となりますが、各国語に翻訳が難しいこともあって普段は A1～C2 の部分だけを標記しているようです。

⁴⁶ 『ヨーロッパにおける日本語教育と Common European Framework of Reference for Languages』ヨーロッパ日本語教師会・国際交流基金 50-51 ページに A1～C2 についてまとめた表が掲載されています。（同書は http://www.jpfr.go.jp/j/japan_j/publish/euro/ からダウンロードが可能です。）

⁴⁷ 簡単に言うと自分の外国語能力をチェックする表のようなものです。ELP ではありませんが、ELP を参考にしてつくった「日本語ポートフォリオ」というものが、<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~naoko/jlp/pdf/JLPJK.pdf> からダウンロードできます。これを作った先生のホームページからも ELP について調べることができます。<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~naoko/jlp/>

低くなっています。

「何をどれくらいできるか」の「どれくらい」に関しては、中級エーレッチェーギでは A2,B1、上級エーレッチェーギでは B2 レベルに設定されています。

エーレッチェーギ外国語テストの試験時間と配点は以下ようになります。日本語の授業を見ても、「漢字・語彙・文法@知識」の習得ばかりに気をとられている生徒さんを見かけますが、それではエーレッチェーギで高得点を取ることはできないようになっています。

エーレッチェーギ外国語試験・配点と各テスト試験時間⁴⁸

	中級		上級	
	配点	時間 (分)	配点	時間 (分)
読解	33	60	30	70
文法	18	30	30	50
聴解	33	30	30	30
作文	33	60	30	90
口頭	33	15	30	20
合計	150	180+15	150	240+20

⁴⁸ テストの順番に従って表を作成しました。

第6章 エーレッチャーギ日本語試験の概要

2006年度からのエーレッチャーギ過去問題については、口頭試験をのぞいてインターネットからダウンロードすることができます。過去問題は次のように探すことができます。

- ① <http://www.okm.gov.hu/main.php?folderID=266> を開ける。
(<http://www.okm.gov.hu/main.php> をあけると、ページの上の方に OKÉV felvi.hu Érettségi Kultúra.hu Pályázatok English の文字(リンク)が並んでいます。このうち érettségi をクリックすると、①のページが開きます。)
- ② ページの下の方に「Az előző évek érettségi, ill. próbaérettségi feladatai és javítási útmutatói」と書いてあります。その下に過去の問題のリンクがあります。(ここでは試しに 2007. májusi érettségi írásbeli feladatok és javítási-értékelési útmutatók のリンクをクリックしてみます。)
- ③ ページに「Középszintű írásbeli érettségi vizsgák 2007. május - feladatlapon és javítási-értékelési útmutatók」と「Emelt szintű írásbeli érettségi vizsgák 2007. május - feladatlapon és javítási-értékelési útmutatók」のリンクがあります。下線を引いた「Középszintű」は中級、「Emelt szintű」は上級を表します。(ここでは試しに上級をクリックしてみます。)
- ④ エーレッチャーギ各教科の過去問題の表が出てきます。この表を見るとエーレッチャーギにたくさんの教科があることに驚かされます。表の中の下ぐらいの位置に「japán nyelv (日本語)」の文字が見えます。この横にある「e_japan_07maj_fl.pdf」が問題、「e_japan_07maj_fl.mp3」が聴解問題の音、「e_japan_07maj_ut.pdf」が解答のファイルになります。

過去問題分析はハンガリー日本語教師会・教材作成委員会でも行なわれていますが⁴⁹、ここでは 2007 年度の過去問題、そして「エーレッチャーギ日本語試験・試験官養成コース⁵⁰」で使用される資料を参考に、出題の傾向について見ていきます。

1. 読解

2007 年度の読解問題は、中級、上級とも「正しい漢字を選ぶ」「文が読解文章の内容とあっているか○×をつける。」「足りない部分をおぎなつて、文章を完成させる。」の問題が出題されました。漢字の問題は毎年必ず「読解テスト」で出題されていますが、漢字を書く問題はありませんでした。

⁴⁹ 同委員会ではこの分析をもとに 2007 年春に模擬試験を作成し実施しました。現在は問題集を作成中です。

⁵⁰ 30 時間のコースです。週末に行なわれます。現在この資格を持っている教員は 3 名しかいませんがそれでは足りません。それで現在、国際交流基金(ブダペスト事務所)と組み、資格者を増やすための方策がとれないか、検討がなされています。

中級エーレッチェーギに必要な漢字は以下の 150 文字です⁵¹が過去問題を見る限り、読みはともかく、「150 すべての漢字を、辞書を見ないで書けるようにする。」ということは求められていないようです。

中級エーレッチェーギに必要な漢字 150⁵²

間青赤朝足兄姉雨歩言行一糸犬今妹色後英
円音弟男女火書買会海外帰学風形紙体川黄
気切聞木北休九牛京近金来草口国黒子五午
語光工校答先三四止知字時下社車十出所小
少上場食白凶水数生千空大高地父茶月手天
電戸土同年友鳥名中長七何二西日入晴走八
花母早半引東左人百昼分文方星本待毎前町
万見右店南持物元森山雪読夜立林六話

上級の漢字については以下の 313 の漢字となっています。上級エーレッチェーギの場合も漢字を書かせる問題はありませんが、「中級エーレッチェーギの範囲の漢字についてはこれを書けるようにすること」がハンガリー教師会としての目標となっています。(漢字の出題基準については、現在ハンガリー日本語教師会教材作成委員会で見直しが行なわれています。)

上級エーレッチェーギに必要な漢字 313⁵³

悪安以意医一員飲院右雨運映英駅円園遠屋音下化何夏家科歌火花画会回海界開階外
学楽漢間館顔危帰気起休急究牛去魚京強教業曲禁近金銀九区苦空係兄計月建犬研県
見険験元言古五午後語交公口好工広校考行降高号国黒今困左作三山仕使四始姉子市
思止死氏私糸紙試事字寺持時次耳自七室質写社者車借弱主取手首受秋終習週集住十
重出春所書女小少消上乘場常色食寝心新森真親人凶水世晴正生声西青石赤切先千川
線前全早走送足族村多体待貸代台大題短男知地茶着中昼注朝町長鳥通低定弟鉄天店
転田電都度土冬東答働動同堂道特読内南二肉日入年買売白八発半飯晩番疲費非百病
品不父部風服物分文聞閉米別返便勉歩母方北本妹毎万味無名明木目問門夜野約薬友
有郵夕曜様洋用来利理立旅料力林六話

語彙に関しては、中級エーレッチェーギでは「日本語能力試験 3 級⁵⁴」、上級エー

⁵¹ 漢字・語彙・文法の出題基準については、国家機密ではあれど、ハンガリー日本語教師会会員か関係者が問題を作成することになるだろうという考えのもと、2004 年～2005 年に教師会内に委員会が設けられ、そこで基準が出されました。

⁵² <http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/kanji1.pdf> に詳しく載っています。将来的に <http://lustajapantandar.dokkoisho.com> に移行させる可能性があります。

⁵³ <http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/kanji2.pdf> に詳しく載っています。将来的に <http://lustajapantandar.dokkoisho.com> に移行させる可能性があります。

⁵⁴ 日本語能力試験の語彙基準については、中国語版ですが <http://web.ydu.edu.tw/~uchiyama/da>

レッチェーギでは「教師会発行の語彙集⁵⁵に掲載されている語彙」を覚えておくことが受験生に求められています。

文章を完成させる問題については、一見読解とは関係なさそうですが、文の流れから語彙や文のかたまりを類推する能力が問われていますから、文章を読んで概略をつかむ能力が求められます。普段から多くの日本語文に接しておく必要があります。（これは読解問題に限りませんが、上級エーレッチェーギの場合、オーセンティック一試験用に作文されたものではないもの一を利用して出題されています。ですから教科書以外のものを読むという工夫も必要になってくるでしょう。）

問題例 1

下の問題は中級エーレッチェーギの「足りない部分をおぎなって文章を完成させる」問題の一部です。実際にはリストから言葉を選んで入れるのですが、ここではそのリストは載せません。さて、皆さんだったらどんな言葉を入れますか？（実際の問題は漢字にふりがながついています。）

インドネシア大学で勉強していた（ ）ことです。私は 食堂でいつも会っている（ ）グループと友だちになって、一緒に（ ）になりました。しかし、日本のようにドライブをしたり、飲みに行ったりして（ ）。みんなとてもびんぼうだからです。私たちは（ ）と、だれかがギターをひき、皆で歌を歌うというのが（ ）なっていました。それが（ ）のです。

2. 文法

2007年度の中級では「正しい動詞の活用を選ぶ」「正しい文法を使って語彙をつないで文章を完成させる」「正しい助詞を選ぶ」、上級では「正しい動詞の活用を選ぶ」「正しい言葉（助詞や接続詞、あるいは語尾につく言葉）を選ぶ」「複文の前半を見て、後半に続く文を捜す」問題が出されました。

エーレッチェーギのために知っておいたほうがいい文法については（国家機密ではあれど、エーレッチェーギ問題を作成するのは日本語教師会のメンバーになるだろうとの予想のもと）基本的には中級については「日本語能力試験 4 級+α」上級については「日本語能力試験 3 級+α」というコンセプトで 2004 年～2005 年にハンガリー日本語教師会で話し合いがもたれました（この時の資料は今のところ <http://lustajapantantar.dokkosho.com/erettsegibunpou.pdf> からダウンロードできます。⁵⁶）

<http://lustajapantantar.dokkosho.com/erettsegibunpou.pdf> で見るすることができます。（実は日本語能力試験の漢字・語彙・表現については一度改訂がなされています。このページは改訂前のものです。）

⁵⁵ 教師会の会員であれば 1 冊 1200 フォリントで購入できます。「ハンガリー語・日本語」版と、「日本語・ハンガリー語」版があります。

⁵⁶ この資料は文法項目のリストだけです。各項目のハンガリー語の文法説明が必要な場合、カーロリ大学の通称 0 年生で教えている教員の授業資料を集めた 3 つの資料を参考にしてください。

(①<http://lustajapantantar.dokkosho.com/MinnanoNihongo1-25.pdf> ②<http://lustajapantantar.dokkosho.com/MinnanoNihongo26-50.pdf> ③<http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/bu>

問題例 2

下の問題は上級エーレツチャーギの「正しい言葉を選ぶ」問題の一部です。実際にはリストから言葉を選んで入れるのですが、ここではそのリストは載せません。さて、皆さんだったらどんな言葉を入れますか？（実際の問題では漢字の一部にふりがながついていきます。）

人口減少、つまり人口が少なくなることは、日本の社会を将来どう変える（ ） 。例えば、少数の若い人が多数のお年よりの（ ） 働かなければならない。また、商品を買う人が減り、会社（ ） 困こまるだろう。会社が困っていたら、（ ） 働く人々は仕事なくなる。すると、商品を買う人がもっと少なくなってしまう、社会を動かすエネルギーがなくなってしまう。そこで、「人口が減って（ ） 困こまらない社会を作る」必要となる。

3. 聴解

2007 年の試験では中上級とも「文の内容が聞きとった内容と一致するか○×で答える。」「文章で抜けているところを、選んで埋める。（リストから選ぶ・3 択あるいは 4 択）」という問題が出ました。日本語能力試験の聴解問題は、「短い文章を聞いて問題を 1 つ解く」という形式のものですが、エーレツチャーギの場合、ある程度長いものを聞いて 10 程度の質問（書いてあります）に答えていきます。実際には、課題ごとに文章を 2 回聞き（1 回目は「文章を最初から最後まで通して」。2 回目は 3 つの部分に分けて聞く）、2 回目の文章を聞いている間、あるいは 2 回目の文章を聞き終わった後に答えを書くようになっています。能力試験の場合、1 つ問題が解けなくても気持ちを切り替えて次の問題を聞くことができますが、エーレツチャーギの場合、一旦受験生がパニックになってしまうと、複数の問題に答えられなくなってしまうから、ある程度の慣れが必要でしょう。

問題例 3

下の問題は中級エーレツチャーギの聴解文章の一部です。皆さんだったらこの文章でどんな聴解問題をつくりませんか？

ある日の午後 4 時ごろのことです。小学校の先生達の部屋で、授業を終おえた先生たちが話し合いをしていました。トントンとドアを軽くたたく音がしました。「どうぞ。」と一人の先生が言いました。ドアがゆっくり開いて、1 年生の太郎君が立っていました。「どうしたの？」と太郎君の先生が聞きました。「あいう・・・」太郎君は

npou.pdf ①は「みんなの日本語」という教科書 1～25 課の文法説明、②は同 26～50 課の文法説明、③は上級エーレツチャーギの文法項目には載っているが、「みんなの日本語」では扱っていない項目と例文です。ただし①と②のハンガリー語には（特に私が担当した部分で）間違いがたくさんあります。加筆・修正して下さる方、ご協力お願い申し上げます。

なかなか次の言葉ができません。「どうしたの？何かお話があって来たんでしょう？」太郎君の先生はもう一度聞きました。「あのね、明日朝顔を持って来るんでしょう？でも、ぼく、だめなんだ。持って来れないの。」

4. 作文

作文は中上級とも問題 1、問題 2 と 2 つの課題が出ます。問題 1 はアンケートに答える課題がよく出されています（量としては 200 文字以内です）。問題 2 は 2 つのテーマから選んで 1 つ書きます。（量としては 300 文字程度です。）いずれの課題も辞書使用が許されています。なお、作文の場合、受験者が書く「漢字・語彙・文法・表現・文の組み立て」レベルが重要視されるので、中級も上級も課題そのものには大きなレベルの差がありません。これは、練習時に上級・中級を問わずどちらの過去問題も利用できることを意味します⁵⁷。

作文のテストには、もちろん採点基準がありますが「どのぐらいの漢字を書けばいいのか」「文法や語彙の間違い 1 つにつき、どのぐらい減点されるのか」などという細かい基準は存在していません。そのため指導する教師側にも大きな不安があるのが現状です。そこで、ある採点経験者に（どんな感じで採点するのか）こっそり聞いてみました。

作文の採点基準（問題 1）

項目	中級	上級
作文量・質問に答えているか	5	4
文法・理論的に正しく書けているか。	4	4
文字を間違わずに書けているか。	2	2
合計（点数）	11	10

作文の採点基準（問題 2）

	中級	上級
質問・提示された視点に答えているか	5	5
文の組み立て	4	4
語彙・表現	5	4
文法	5	4
文字	3	3
合計（点数）	22	20

ある採点者からのメッセージ

エーレッチェーギの採点は必ず複数名で行います。また採点者がきちんと採点した

⁵⁷ 自分で問題を考えなくてもいいので嬉しいです。

かどうかをチェックする人もいます。ですから、もし採点に疑問があるときは「採点の基準⁵⁸」などを確認し、皆で相談します。あ、採点は成績ではないので「0点」になることもあるということは生徒さん達に言っておいた方がいいかもしれません。

作文を書くときに最も注意してほしいのは量です。例えば上級の課題1の場合、120～180文字の作文を書かなければなりません。文字数が120ないと作文量の項目が1～2点、60文字ないと点数が0になってしまいます。作文量の点数が0の場合、他の項目は評価ができなくなります。(例えば「私の名前はペーテルです。」とだけ書いてあった場合、この文章が文字・語彙ともに完璧でも、その項目に点数は出せられません。)ということは問題1すべてが0点ということになってしまいます。

次に気をつけて欲しいのは、問題2の課題に出されている「4つの視点」を必ず作文に盛り込むということです。これが作文に1つも入っていないと、いくら上手に作文が書けていても「質問・提示された視点に答えているか」の項目が0になってしまいます。この場合そこに書かれているものは受験者が書いた勝手な文章ですから、他の項目の採点ができなくなります(自分が暗記してきた文を課題に関係なく書かれても採点できませんからね)。

あと上級の作文の場合、単文や重文(「そして」「しかし」でつなぐ文)ばかりで、複文(～と思う、～なら、～ときのような文)が書いてないと採点が厳しくなってしまいます。

文の組み立についてですが、「はじめ」「なかみ」「おわり」と段落をつくってわかりやすく書いてくれると嬉しいです。採点作業は数日かかるもので採点者も作文をチェックする段階でかなり疲労していますから、文の組み立てがきれいではなく、書いていることを理解するために何回も読まなければならないとイライラしちゃうんです。

問題例 4

下の問題は中級エーレッチェーギの作文問題の一部です。実際の問題ではアンケートに記入し、荷物の中に何が入っていたのかを作文するのですが、もしアンケートではなく書面で状況を説明しなければならないとしたら、皆さんはどのようなことを書きますか？

あなたは ナジ・アンナ/アーロンです。高校の4年生です。日本へ行きました。空港に着いたとき、荷物が届きませんでした。空港の事務所へ行きました。フォームの質問に答えてください。

5. 口頭

最初にも書きましたが、口頭試験は過去問題が公表されていません。(これは中級

⁵⁸ この章の頭にしたダウンロードできる「解答」ファイルに採点基準が詳しく記載されています。

エーレッチェーギの場合、学校で日本語を教えている先生が問題をつくるという事情もあると思います。) そこでここでは「エーレッチェーギ日本語試験・試験官養成コース」で使われる模擬問題を参考に話を進めます。

口頭は、中級も上級も3つの課題から成り立っています。試験ですが、最初ウォーミングアップとして試験官と受験生が話しをした後、受験生が15ある封筒から1つを選びます⁵⁹。この封筒の中に3つの課題が入っています。試験官は受験生から封筒を受け取り、中の課題を出して課題ごとに質問をしていきます。

各課題と配点

中級	満点	上級	満点
会話	8	会話	5
ロールプレイ	10	議論	10
説明	15	説明	15
合計	33	合計	30

最初の課題の「会話」ですが、あるテーマについて試験官があらかじめ決められた質問をします。上級の場合にはテーマについて数行の文章を読んだ後に質問をします。

問題例 5 (会話)

あなたの日本語の勉強について教えてください。(中級)

1. いつから日本語を勉強していますか。
2. どうして日本語の勉強を始めましたか。
3. 1週間にどのくらい日本語を使いますか。
4. 学校の外でいつ日本語を使いますか。

日本人も色々なお酒を飲みますが、一番たくさん飲むのはビールだそうです。1人の大人の日本人は1年間で70リットルのビールを飲むそうです。でもこれは世界で25番目です。(上級)

1. あなたはお酒を飲みますか。家族はどうですか。
2. あなたはどんなお酒が好きですか。家族はどうですか。
3. お酒のいいところと悪いところは何ですか。

ここで注意しなければならないことは、YES-NOの質問をされたときに、質問に答えるだけでは高い点数が望めないということです。練習をするときには「質問の答え+更なる情報」で答えられるように練習をしておく必要があります。

課題2は中級の場合「ロールプレイ」になります。ある場面と役割を提示され、試

⁵⁹ 中級の場合は受験者数が少ない場合、封筒の数も少なくする可能性があります。

験官を相手にやりとり（課題達成）をします。この際、試験官は、基本的にあらかじめ決められた質問（試験官が持っている用紙に書かれています。）をしていきます。

問題例 6（ロールプレイ：中級）

友達のあきこさんは日本人です。ブダペストに住んでいて音楽を勉強しています。あきさんは、まだハンガリーを旅行したことがありません。それで、1週間ぐらいハンガリーを旅行したいそうです。電話であきこさんにアドバイスをしてください。

1. 1週間ぐらい旅行をしたいんですけど、どこがいいですか。
2. どこへは、どうやって行きますか。
3. どのぐらいかかりますか。チケットはどこで買えばいいですか。
4. そこにはホテルがありますか。どうやって探しますか。

上級では課題 2 は「議論」になります。これはあるテーマについて受験生が賛成か反対の立場で意見を言います。それに対し試験官が反対の意見を言います。（試験官は、あらかじめ決められている意見を言います。）この課題では、ただ自分の意見を言うだけではなく、相手の意見を受けて、更に自分の意見を進めていく必要があります。「とても難しい問題ですが、私は～と思います。」「確かにおっしゃる通りだと思います。／確かにそのような意見もあると思います。ただ・・・」「本当にそうですね。でも・・・」など「一度受けて答える」表現を生徒さんがいくつか知っているといいかも知れません。（これって、日本人的な議論の進め方かも？）

問題例 7（議論：上級）

バスや地下鉄があるような大きい町では、車は必要ありません。（賛成ですか。反対ですか。）

もし、受験生が議論できない場合、試験官は発話の手助けとして色々質問をします。当然、最初から最後までこのような会話で終わってしまった場合、点数は低くなります。

最後の「説明」では受験生が決められたテーマについて試験官に説明します。（問題が 2 つあり、そのうち 1 つを選びます。）問題にはテーマに関する写真もありますから、それを利用することもできます。説明の後、試験官は（説明で足りないなど思ったところについて）あらかじめ決められた質問をします。（ということは上手に説明ができた場合、試験官からの質問がほとんどないということになります。まあ、ないと寂しいし、受験生も不安になるので 1 つ 2 つ何かするかもしれませんが・・・）問題 2 もそうですが、問題 3 も考える時間が 1 分しかありません。更にメモをとる時間もないので、普段から自分でテーマを決めて話をする練習をしておくことが必要になるでしょう。また問題 3 には日本とハンガリーの文化や習慣の違いを問う問題が含まれる可能性がありますので、その点にも注意が必要です。

問題例 8

ファストフードショップのいいところと悪いところについて教えてください。(中級)
日本とハンガリーのバレンタインデーについて説明してください。(上級)

口頭試験の採点基準は以下のようになります。これについても、ある試験管担当経験者からコメントをもらいました。(2008年5月・6月に行なわれるエーレッチェーギ日本語口頭試験の採点基準については <http://www.okm.gov.hu/main.php?folderID=266&articleID=229880&ctag=articlelist&iid=1#63> からダウンロードすることができます。)

課題 1

項目	中級	上級
コミュニケーション・インターアクション	2	2
語彙・表現	2	1
文法	2	1
テンポ・発音・アクセント	2	1
合計	8	5

課題 2

項目	中級	上級
コミュニケーション・インターアクション	5	5
語彙・表現	2	2
文法	2	2
テンポ・発音・アクセント	1	1
合計	10	10

課題 3

項目	中級	上級
詳しさ・組み立て・自発	4	4
語彙・表現	4	4
文法	4	4
テンポ・発音・アクセント	3	3
合計	15	15

ある試験官経験者からのメッセージ

口頭試験の試験官は2名で、そこに監督者もいます。もし試験官が教えている人が

受験した場合、その試験官には採点に関して意見を言う権利も採点をする権利もありません。あと、採点基準を見てもらってもわかると思うのですが、問題 1 は殆どが 0～1 の配点なので、実は採点しにくいんです。0 点は上げにくいので大きな問題がなければ 1 点がとれます。問題 2 はコミュニケーション・インターアクションの配点が高いですよね。配点は問題 2 より問題 3 の方が大きいですが、試験官の中には問題 3 より問題 2 の方が難しいと考えている人も多いです。ですから、問題 2 の「コミュニケーション・インターアクション」でいい評価が出れば、問題 3 でもいい評価が得られやすいかなと思います。もし問題がわからないときや困った時は、逆に日本語で試験官に質問をしてもいいです。だって、それが本当のインターアクションでしょ。わからなくなって受験生が黙ってしまうと、こっちもつらくなってきます。とにかく何でもいいから話してほしいです。

口頭試験ですが、過去問題が見られないのでどんな問題が出るか不安ですよね。一番いいのは日本語教師会のメンバー（同僚）に「不安・疑問」をぶつけることですが、以下のサイトから次のような情報もダウンロードできます。

①テーマ (<http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/Kaiwa1.pdf>)

口頭試験の問題は、いくつかのテーマ（カテゴリー）に関することから出すように決められています。ですからカテゴリーを見て教師や生徒さんが問題をつくれれば、本番の問題に近いものを練習することができる可能性が高くなります。（問題作成者も、そんなにこった問題はつukれないはずですから。）

②場面 (<http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/Kaiwa2.pdf>)

特に中級の問題 2（ローフプレー）に役立ちそうな場面についての表です。（ちょっと難しいかもしれませんが。）

③模擬問題 (<http://home.tvnet.hu/~ocsiba/KRE-JAPAN/Kaiwa3.pdf>)

2005 年、2006 年、2007 年と日本語教師会では、口頭試験の模擬試験を行いました。その時の問題があります。（上級のみです。）

おわりに

(多分におせっかいだったかもしれませんが) この資料が、もし皆さんの役に立ったなら嬉しいです。

エーレッチェーギを取り巻く環境は流動的です。2008年5～6月に行なわれるエーレッチェーギについては、ここに書いてあることと大きなブレはないはずですが、2009年に行なわれるエーレッチェーギについては、またシステムが変わるかもしれません。私も気をつけますが、本資料の足りないところを含めて、是非情報をいただければと思います。

あと、この資料は急いで(実質2日間)でつくったので、読みにくいところがたくさんあると思います。おかしいところがあったら直しますので教えてください。

あ～つかれた。

2008年5・6月のエーレッチェーギ(日本語)の日程

申込期限：2008年2月15日(困ったらOKÉVへ連絡)

筆記試験：2008年5月23日(中級・上級)

口頭試験：2008年6月5～11日(上級)→このうちの2～3日

2008年6月16～27日(中級)→学校により違います。